

■『刺青』と『タトゥー』

『刺青』の歴史は、魏志倭人伝にも記載されているように、かなり古いものです。古来、海洋民族は、海で亡くなったときに本人確認ができるようにと、体に自分なりの模様を彫ったといわれています。

江戸時代、罪人を区別するためと、渡世人が装飾のために彫り始めてから『刺青』は反社会的なイメージが固定化されました。

最近では、サーファー、スポーツ選手、アーティストなどを中心に『タトゥー』と名を変え、若い女性の間にも広まってきています。

しかし、最近、付き合った相手に嫌われたとか、就職にマイナスであるとか、両親に反対されたとか、さまざまな理由で『タトゥー』を除去するために当院を訪れる方が増えています。

黒、青、緑、赤などはレーザー照射で、小さいもので縫い縮めることができるものは、メスで切り取ってしまいます。どちらもできないものは、皮膚を薄く削る手術をしています。

平成 21 年 8 月分原稿

はらクリニック院長

原 徹